

主な投稿論文・口頭発表等

2005.12 2006.5

投稿論文

化学物質の測定

建築に使われる化学物質事典 第3章(風土社) 77-117(2006)

長谷川あゆみ(環境技術センター)

シックハウス問題が拡大する中、建築従事者や安全な住まいを実現しようとする消費者にとって、化学物質に関する情報は専門的であり、難しい。本書はそのような皆様に向けた、建築に使われる化学物質の基本データ、その使用例・実測例、化学物質の実際の測定方法、関連法規の解説までを網羅した必携書である。

Determination of glabridin in human plasma by solid-phase extraction and LC-MS/MS

Journal of Chromatography B, 828, 70-74 (2005)

青木史樹, 中川 格, 荒井直樹, 前 辰正, 田中昭好*, 松崎和恵*

(株)カネカ, *医薬事業本部ファーマ事業所)

甘草中の主なフラボノイドであり、抗酸化作用等の働きがあるグラブリジンについて、固相抽出、LC-MS/MSの組み合わせにより、定量下限濃度0.1 ng/mL血漿(装置注入量1.25 pg)の濃度測定法を確立した。感度、選択性、再現性を検証した生体試料中のグラブリジン濃度測定法の報告は、これが最初である。

溶出試験における分析法バリデーション実施のためのポイント

PHARM STAGE 5 (4) 57-63 (2005)

佐藤隆俊(医薬事業本部ファーマ事業所)

医薬品の溶出試験は、内用固形剤の品質を一定水準に確保し、併せて著しい生物学的非同等性を防ぐことを目的とし、製剤設計並びに品質の管理手段にとどまらず生物学的同等性試験の代替試験としても活用されている。溶出試験を運用するには、その分析法が溶出試験法の目的に即し、科学的に妥当であることを証明するためにバリデーションを実施することが必要である。本稿では、溶出試験法における分析法バリデーションに焦点をあて、これを試験実施の観点で説明している。

口頭発表等

ハウスダスト汚染物質の粒径別付着状況

長谷川あゆみ(環境技術センター)

平成17年度室内環境学会総会(産業医科大学 北九州)

2005年11月20日-21日

生体試料中の薬物定量におけるLC-MS/MSの活用について

齋藤嘉一(医薬事業本部ファーマ事業所)

第190回液体クロマトグラフィー研究懇談会(東京理科大学)

2005年11月22日

改良デュマ法による飼料分析の紹介

松本孝春, 原田弘治, 内藤義浩*(大阪事業所, *(株)アクトック)

平成17年度九州地区飼料品質改善協議会(博多パークホテル)

2005年11月25日-26日

ダイオキシン類生物検定法「Ahルシフェラーゼアッセイ」

横堀尚之, 松永尚之*(愛媛事業所,*住友化学(株))

新公定法・ダイオキシン類生物検定法セミナー(東京体育館第一会議室)

2005年11月29日

シリカゲル系光学活性カラム 表面積の測り方、使い方 粒子径の測り方、使い方

西岡亮太(大阪事業所)

LC-Day s 2005(石川厚生年金会館)

2005年12月1日

FT-IR分析で分かるインクジェットメディア受容層の組成

末広省吾(大阪事業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(ゆうほうと 東京)

2006年1月25日

測定にて精度を確保するための留意点

長谷川あゆみ(環境技術センター)

(財)建材試験センター主催小形チャンパー法によるホルムアルデヒドVOC測定技術講習会(鉄鋼会館 東京)

2006年1月31日

クリーンルームにおけるアウトガス対策と清浄度評価

大橋一俊(千葉事業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(北とびあ 東京)

2006年2月23日

分子状物質の測定の流れと計画

藤本武利(客員研究員)

(社)日本空気清浄協会主催シンポジウム(東京 学士会館)

2006年2月23日

改良デュマ/燃焼法による粗たんぱく質の分析

松本孝春, 原田弘治, 内藤義浩*(大阪事業所, *(株)アクトック)

平成17年度飼料品質改善中部協議会研究部会(桜花会館 名古屋)

2006年3月10日

Reference materials for polymer additives

松山重倫, 岸根加奈, 島田かより, 齋藤 剛, 衣笠晋一, 今西克也*, 真鍋秀一朗*((独)産業技術総合研究所, *愛媛事業所)

Pittcon 2006(米国 オーランド)

2006年3月12-17日

ポジティブリスト対応のための残留農薬一斉分析法

和田しのぶ(大阪事業所)

アプライドバイオシステムズ社ユーザーミーティング(ホテルグランドパレス 東京)

2006年3月14日

リアクションセルおよび高分解能ICP-MSを用いた高感度測定

○行嶋史郎, 藍原弘行, 飯川玲子, 長谷川幹男, 竹田菊男(千葉事業所)

プラズマ分光分析研究会第66回講演会(中央大学)

2006年3月16日

食品中に残留する農薬等のポジティブリスト制に係わる分析法の概要と問題点

廣田政隆(愛媛事業所)

パリアンFood Safetyセミナー(千里ライフサイエンスセンター)

2006年3月16日

ポジティブリスト対応のための残留農薬一斉分析法

和田しのぶ(大阪事業所)

アプライドバイオシステムズ社ユーザーミーティング(大阪新阪急ホテル)

2006年3月16日

ポジティブリスト対応のための残留農薬一斉分析法

和田しのぶ(大阪事業所)

アプライドバイオシステムズ社ユーザーミーティング(ホテルセントラザ博多)

2006年3月17日

食品中に残留する農薬等のポジティブリスト制に係わる分析法の概要と問題点

廣田政隆(愛媛事業所)

パリアンFood Safetyセミナー(東京カンフェレンスセンター)

2006年3月22日

新規アルデヒドサンブラーCNETの研究開発

北坂和也, 島尻はつみ, 杉原輝一*, 佐竹 肇*(大阪事業所, *東京営業所)

第192回液体クロマトグラフィー研究懇談会(東京理科大学)

2006年3月23日

クリーンルームにおける清浄度評価

平 敏和(千葉事業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(産業プラザPIO 東京)

2006年3月30日

クリーンルーム中AMCの評価

平 敏和(千葉事業所)

(株)工業技術会主催講習会(JICCビル 東京)

2006年4月6日

分子状物質の測定の流れと計画

野中辰夫(千葉事業所)

第24回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(早稲田大学国際会議場)

2006年4月11日-12日

ミニエンパイロメントのAMC₀評価(1)

藤井博史, 飯川玲子, 榎原孝明, 長谷川幹男, 竹田菊男, 藤本武利*(千葉事業所,*客員研究員)

第24回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(早稲田大学国際会議場)

2006年4月11日-12日

ミニエンパイロメントのAMC₀評価(2)

平 敏和, 藤井博史, 榎原孝明, 長谷川幹男, 竹田菊男, 藤本武利*(千葉事業所,*客員研究員)

第24回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(早稲田大学国際会議場)

2006年4月11日-12日

CMP工程の評価

~表面分析による評価を中心に~

古田倫明(大阪営業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(TIME24ビル 東京)

2006年4月20日

統計が苦手な方のための分析法バリデーション実施・評価手法

畑田幸栄(医薬事業本部ファーマ事業所)

サイエンス&テクノロジー(株)主催講習会「分析法バリデーション」(天満橋 ドーンセンター 大阪)

2006年5月23日

インクジェットメディアの観察・組成分析技術

末広省吾(大阪事業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(TIME24ビル 東京)

2006年5月25日

定量限界・検出限界に関する事項 システム適合性試験に関する事項

畑田幸栄(医薬事業本部ファーマ事業所)

(株)技術情報協会主催セミナー(東京ビックサイト)

2006年5月30日